

3 タイキキララの21年産 牡

父：エイシンヒカリ 母の父：キングヘイロー

2021年3月6日生(鹿毛) 栗東・中尾秀正厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額3,500万円／一口出資金87,500円／月々の維持費 1,750円／1口



エイシンヒカリ 芦毛 2011年	ディーブインバウト 鹿毛 2002年	サンデーサイレンス(USA)
		ウインドインハーヘア(IRE)
タイキキララ 鹿毛 2010年	キャタリナ(USA) 芦毛 1994年	Storm Cat(USA)
		Carolina Saga(USA)
タイキキララ 鹿毛 2010年	キングヘイロー 鹿毛 1995年	ダンシングブレーヴ(USA)
		グッバイヘイロー(USA)
	タイキステラ(USA) 鹿毛 1997年	Miswaki(USA)
		ロイヤルブライド(USA)

Halo S4×M4 Lyphard M4×S5 Northern Dancer S5×M5

Family Line

母 タイキキララ

出走、本馬は第6仔

フェリーチェ：2勝
タイキルークス：2勝
タイキバンディエラ：1勝、現役

祖母 タイキステラ(USA)

6勝

ミヤジシェンロン：2勝 [東海]1勝、[南関東]2勝
[孫]ゲンパチルシファア：5勝、現役 プロキオンS(G3)

曾祖母 ロイヤルブライド(USA)

不出走

タイキエルドラド(USA)：5勝 アルゼンチン共和国杯(G2)
タイキトレジャー(USA)：8勝 函館スプリントS(G3)、
マイルCS(G1)3着

4代母 ロイコン(GB)

英愛2勝

Kings River(IRE)：英・愛・米13勝 グレンカーンS(G3)
[孫]シンコウラブリイ(IRE)：10勝 マイルCS(JPN1)
タイキマーシャル(IRE)：8勝 エプソムS(JPN3)
[曾孫]キングストレイル：4勝 セントライト記念(JPN2)

Broodmare Sire

母の父 キングヘイロー

1995年生 鹿毛 新冠産

【競走成績】

27戦6勝

高松宮記念(G1)、中山記念(G2)、皐月賞(G1)2着

【母の父として】

ビクシーナイト：スプリンターズS(G1)
ディーブボンド：阪神大賞典(G2)
ジョーストリクトリ：ニュージーランドT(G2)
イクイノックス：日本ダービー(G1)2着

TRAINER 中尾秀正 調教師(栗東)

1966年12月6日生 滋賀県出身

2003年開業 JRA通算342勝

※成績は2022年6月28日現在

【主な管理馬】

アドマイヤスバル：JBCスプリント(JPN1)2着

マジンブロスパー：CBC賞(G3)2回

シフルマン：都大路S(L)

Sire

父 エイシンヒカリ

2011年生 芦毛 三石産

【競走成績】

国内：11戦8勝 海外：4戦2勝

イスパーン賞(G1)、香港カップ(G1)、
毎日王冠(G2)、エプソムC(G3)

【直近3年の種付頭数】

2019年94頭、2020年56頭、2021年21頭

【代表産駒】

エイシンヒテン：ローズS(G2)2着

カジュフェイス：もみじS(OP)



©株式会社ジャパンレースホースエージェンシー

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

バランスの取れた馬体で、立ち姿が様になる鹿毛馬はタイキキララの21年産、オトコ馬。皆さまご存じの父エイシンヒカリは圧倒的な能力で海外G12勝を挙げ、スタッドイン後も、その能力を産駒にもしっかり伝えて初年度産駒からクラシック戦線を賑わしました。同時に有り余る活力に起因する気性難も産駒に伝えており、早くもトレセン内では「大人しいエイシンヒカリ産駒は走らない」というジンクスが生まれているようです。本馬についてはご安心ください。しっかり「やんちゃ」ですよ。やんちゃぶりも含め、いろんな面において21年産世代で頭一つ抜けています。まず太く逞しい首が生み出すパワー、早くもハミなしでは曳き馬できないほどです。続いて、身体の柔らかさ、バネ。放牧地での走りから運動神経の良さがひと目でわかる伸びのある走りを見せています。そして「やんちゃ」なのに賢い。馴致での物覚えが早く、トントン拍子で鞍付けまで進めることができています。騎乗運動を始めるのはまだ少し先ですが、なんでもサクサクとこなしてくれそうなイメージです。馬体重もすでに440kg近くあり、肩回りやトモの筋肉のボリュームも十分です。今のところ荒い気性以外に懸念点はなく、人を乗せてどのようなキャンターを見せてくれるのか、今から楽しみでなりません。